

自分だけのニューヨーク

...見つけた

New York—a city where everyone mutinies but no one deserts. *Harry Hershfield*





確かに人々は文句ばかり言っているようだ

やれ公害だの、道路が整備されていないだの、

差別だの、ハラスメントだの……………、

日々、口々にニューヨークの悪口を言いながらも、決してここを離れようとするニューヨーカー達

いったいこの街の何が彼らをそんなにも引き付けるのか——

ブロードウェイ、アート、ウォールストリート

風物詩を上げれば切りがないが

そんな人並みなことではない

自分だけが感じるニューヨークの魅力を見つけられれば……

Photography Credit: Taro Karasawa / Satoshi Morita
Wildlife Conservation Society
GATEWAY Tourism Council Inc.





Times Square

Apollo Theater
Harlem



タイムズ・スクエア (Times Square)

1904年、屋上でのニューイヤーズイブ・セレブレーションが催されて以来、人々の心に「大晦日と言えばタイムズ・スクエア」が浸透していった。大晦日のミッドナイト、輝くボールをポール沿いにビルの屋上に落とすアトラクションは1907年を最初に、その後伝統的に毎年行われ、現在では約50万人の観客がここに集い、世界中で約3億の人々がテレビでの中継を心待ちにする。約50年間使い続けられたこのボールは1995年に初めて化粧直され、以前にも増して魅力的に変身した。

こんな輝かしいイメージを持つタイムズ・スクエアだが、42丁目を含むこのエリアはエキサイティングな反面、きらめくポルノショップのライト下をハスラーや売春婦が闊歩する街という悪名を持つことも事実。しかし1980年代から始まった「街の清潔キャンペーン」によって、この街も変貌を遂げつつある。これらの再開発に対して、



タイムズ・スクエアがつまらない街になってしまうという理由で、一部のアート・ソサエティーなどから反対の声が上がっていたが、現在数多かつたポルノ関連のショップは影を潜めクリーンなイメージを強めている。犯罪街は歓迎できないが、最も魅力的な街としてのタイムズ・スクエアは失いたくないものだ。

アポロシアター (Apollo Theater)

時代々々のブラックミュージックの姿を如実に映し出してきたハーレムのシンボル、アポロシアター。1919年にオープン、現在も劇的な人気を博すアマチュアナイトは35年から始められた。56年にジェームス・ブラウン (James Brown) が優勝、そしてプロの道を歩み始める。ジャクソン5 (The Jackson 5) が優勝したのは69年、マイケル・ジャクソン (Michael Jackson) はこの時わずか9歳。話題と人気を得ながらも79年に破産、しかし83年にニューヨーク州から融資を受け、さらにランドマークに指定されている。感動すれば限りない声援を、気に入らなければ遠慮なしのブーイングを送る、アートを自分達のものとして楽しむアポロ流の姿に触れてみたい。

バッテリーパーク (Battery Park)

17世紀、マンハッタン島の南端にオランダ人が創ったFort Amsterdam。これが現在のバッテリーパークである。公園、手入れの行き届いたガーデン、遊び場、ハドソン川沿いの遊歩道……忙しい街の雑踏から逃れて休息を求める人々の憩の場だ (スケートに関してのインフォメーション: 212-267-9700)。



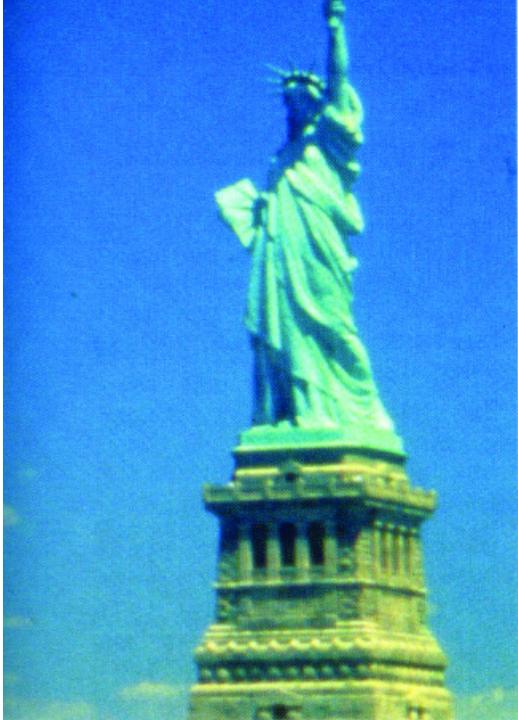
[ツアー]

- The Alliance for Downtown New York: 無料の小型バスツアー/バッテリーパークだけでなく、ワールドトレードセンター、サウス・ストリート・シーポート、ウォール街などを巡るダウントウン・ツアー/6:45~22:00 (月~金) 9:45~21:30 (土・祝祭日) 9:45~20:30 (日)/(212) 566-6700
- Heritage Trails New York: ちよつと変わったものに焦点を当てた徒歩ツアー/Old New York - New Downtown Tour 11:00 (月、水、金~土)/The World of Finance Tour 9:30 (金)/他にもSpecial Breakfast TourやA Downtown Odysseyなどがあるので、詳細、料金は問い合わせ/1 (888) 4-TRAILS, (212) 269-1500

Battery Park



・・・見つけた



GATEWAY Tourism Council Inc.

自由の女神 (Statue of Liberty)

ニューヨークの港にそびえる自由の象徴。フランスとアメリカの友情の印でもある「自由の女神」。1892年から1954年にかけて、次々と汽船でニューヨークに到達した約1,200万人の移民達は、この像をおおき未来の地に希望を見出したのだ。

1986年、100歳の誕生日を向かえたこの女神は、フランスとアメリカの共同作業で創られたのだった。アメリカは台座を、そしてフランスが像を担当という同意のもとに作業が開始されたが、双国を待っていたのは基金不足という試練だった。アメリカでは演劇やアートでの展示会、オークションなどを利用して基金を募った。それでもなかなか波に乗らず関係者達が手をこまねいていたその時、ピューリッツァー氏 (Joseph Pulitzer=彼の遺産により制定されたのがピューリッツァー賞) が基金への不協力を風刺する記事を新聞に掲載。それが功を奏し、1986年4月には台座が完成する運びとなった。一方、フランスでも公共金や各種エンターテインメント、宝くじなどがこの資金として活用され、84年の7月に像が完成。85年6月、350個のピースに解体された女神はフリゲート艦「Isere」でニューヨークに運ばれた。さらに4ヵ月を費やし台座の上に設置された女神は、86年10月28日、初めてその神々しい姿を人々の前に現わしたのである。

今日、年間400万人以上の観光客がここを訪れる。この巨大な像の中に入り、冠の部分まで到達するには354段の階段を制覇しなければならない。体力に自信のない人はエレベーターで台座のトップまで行けるが、そこから階段に乗り換えることはできないので覚えておこう。美術館もこの台座の中にある。夏場の観光シーズンには3時間以上の待ち時間となることもあるので、朝早く出かけたい。

エリスアイランド (Ellis Island)

移民博物館ではエリスアイランドと移民の歴史をかいま見ることができる。「Treasures From Home」では実際にニューヨークに移民として到着した人々の私物などが展示されており、シアターでは30分ドキュメンタリー・フィルム「Island of Hope, Island of Tears」が上映されている。

自由の女神:

●Liberty Island/(212) 363-3200 (レコーディング)、(212) 363-6307
開館時間 9:30 - 17:00 (夏季はこれより長く開館/冬季は12月25日から閉館)
交通 Statue of Liberty / Ellis Island Ferry, Inc. (212-269-5755) のフェリー・チケットで自由の女神とエリスアイランド両方を訪ねることが出来る。出発はバッテリーパーク (NY) とリパブリー・ステートパーク (NJ) から。大人 \$ 7、子供 \$ 3、高齢者 \$ 5 (98年6月現在)。

セントラルパーク (Central Park)

1840年、マンハッタンの中央に横たわる沼地で、何百万トンという土・石が動かされ、500万本もの樹木が植林、58マイルにも及ぶ道が建設、そして幾つかの池や湖が作られた。こうして何の用途もなかった荒地は美しい公園へと変身を遂げた。

72丁目のパーク横断道路の真ん中辺に当たるBethesda Fountain and Terraceの南、Mallにはロマンチックな散歩道が延び、週末にはバレーボールを楽しむ人々や大勢のローラーブレードが訪れる。ここの西側が毎年サマーステージが開催される場所。さらに西のSheep Meadowは1930年頃、まだ本当の羊が放牧されていたエリアである。72丁目の西側入り口近くにはビートルズのソングで有名なストロベリー・フィールド、少し北にある湖ではボートが借りられる。さらに北に進むとバードウォッチングで有名なRamble。そして79丁目の横断道路沿いには子供達のためのBelvedere Castleと、名所を上げ出せば切りがないのがセントラルパーク。

- Belvedere Castle (子供用のアクティビティ・センター)
W 79th St, Central Park (212) 772-0210/10月~2月...11:00 - 16:00 (火~日)、2月~10月...11:00 - 17:00 (火~日)/入場無料 (98年6月現在)
- Central Wildlife Conservation Center (動物園)
Fifth Ave, 64th St (212) 861-6030/4月~10月...10:00 - 17:00 (月~金) 10:30 - 17:30 (土、日)、11月~3月...10:00 - 16:30 (月~日)/入場大人\$2.50 (98年6月現在)
- The Dairy (インフォメーション・センター)
64th St, Central Park (212) 794-6565/4月中旬~10月中旬...11:00 - 17:00 (火~日) 10月中旬~4月中旬...11:00 - 16:00 (火~日)/入場無料 (98年6月現在)
- Loeb Boathouse
5th Ave & E 74th St, Central Park (212) 517-4723/夏期...11:30 - 18:00 (月~日) 春&秋...10:30 - 18:00 (土、日)/ボートレンタル料 \$ 10+ \$ 30デポジット (返金される) (98年6月現在)



ニューヨークのスポーツ

野球	New York Yankees : (718) 293-6000 New York Mets : (718) 507-TIXX
バスケットボール	New York Knicks : (212) 465-JUMP
フットボール	New York Giants : (201) 935-8222 New York Jets : (201) 935-3900
アイスホッケー	New York Rangers : (212) 308-NYRS
インドア・フットボール	New York CityHawks : (212) 465-5890
バスケットボール (女性)	New York Liberty : (212) 564-WNBA
サッカー	MetroStars : (888) 4-METROTIX



子供連れにうれしいプログラム

- Small Journeys, Inc.
子供からティーンエイジャーまでのツアーや学習プログラム/(212) 874-7300
- The Broadway Line
子供向けのショーを探せる/(212) 302-4111
- The Big Apple Circus
テントを張って行われるサーカス/(212) 268-2500
- The New Victory Theater
子供と家族向けのシアター/(212) 239-6200
- The Little Orchestra Society
3歳から12歳向けのオーケストラ・コンサート/(212) 971-9500
- Tadai Youth Ensemble
子供のための子供によるミュージカル/(212) 243-6736



Central Park